

Q2. 土壌診断の結果はどのような内容なのか？

＝土壌診断処方箋＝ 広域土壌分析センター千葉 分析担当者： 分析日： No.

JA名：山武都市 氏名： 農場名：

団体： 作物：スイカ、ハウス半促成栽培 土壌：

1	pH	EC (mS/m)	アンモニア 態窒素	硝酸態 窒素	CEC 【推定値】	交換性陽イオン			陽イオン 飽和度	石灰/苦土 (当量比)	苦土/加里 (当量比)	可給態 リン酸	リン吸	腐植
						石灰	苦土	加里						
分析値	6.1	118	—	39	36	625	230	73	97	2.0	7.3	197	—	—
基準値	下限	6.0	0	0		399	57	34	49	2.0	2.0	20		
	上限	6.5	30	5		599	115	168	85	6.0	6.0	100		
改良後推定値						625	230	73	97	2.0	7.3	197		

2

分析値を基準値と比較すると

3

陽イオンのバランスは

診断コメント：

・窒素とリン酸が大幅に過剰傾向です。次作では減肥してください。
・石灰と苦土が過剰傾向です。石灰、苦土を含む堆肥、肥料の多量施用は避けましょう。

4	施肥と土壌改良の処方箋	施用量 kg/10a	有効成分量 (kg/10a)				
			N	P ₂ O ₅	K ₂ O	CaO	MgO
肥 料 (基肥N、P、K量)	さんぶ西瓜ブリケット(685)	0					
	くみあい硫酸加里(粒状)	30			15		
施肥量 計			0	0	15	0	0
土壌改良資材 (土づくり)							
たい肥							
合 計			0	0	15	0	0

土壌診断の結果は、上記のような処方箋でお知らせします

① 分析結果

分析結果が数値で記載されています。基準値と照らし合わせ、養分状態の過不足も把握できます。

② 分析結果のグラフ・図

①の分析結果を視覚的に分かりやすくグラフで表しています。

③ 分析結果へのコメント

分析結果に対する注意点や、アドバイスが記載されています。

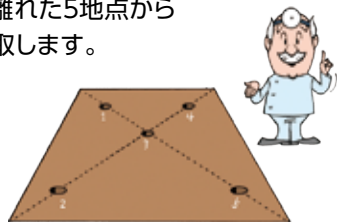
④ 処方箋

分析結果を受けて、お薦めする肥料と施肥量を提案しています。

Q3. 土壌診断に出す土はどのように採ったらよいか？

①採取地点

水口・水尻や河川・道路の近くをできるだけ避け、圃場の左右から5～10m離れた5地点から採取します。



②採土方法

表層1cmの部分は取り除いてサンプリングします。できるだけ石や稲わら等が入らないように、10～20cmの深さからなるべく均等に採土します。



③採取した土の調整・乾燥

1つの圃場全体を1サンプルとして、採取した5地点の土をよく混ぜ合わせて、きれいな新聞の上に薄く広げて陰干しします。乾いたら塊を砕いて約300g(紙コップ1杯程度)を土壌診断の専用封筒に入れます(土壌診断の専用封筒は各営農・経済センターにあります)。

※土を提出いただいてから結果のお渡しまで、1カ月程度かかります(混雑時や分析項目によっては、より時間がかかる場合があります)。詳しくは、お近くの営農・経済センターまでお問い合わせください。

農 作 業

テクニカル ダイアリー

土壌診断 特集

営農部 営農振興課 営農指導員 川島 由衣花

JA山武都市では「作物の収量と品質向上」「肥料コスト削減」のため、定期的な土壌診断を推奨するとともに、環境に配慮した農業の推進にも力を入れています。

土壌診断の結果は、土の養分状態の把握、適正な施肥量を判断するのに活用できます。

土壌診断を行ったことのない方は、まずは1圃場から取り組んでみましょう！

Q1. 土壌診断ではどんな項目を分析できるのか？ (項目抜粋)

pH	土壌の酸度を表す数値。7.0を中性として、7.0より小さいと酸性、大きいとアルカリ性になります。土壌が酸性にもアルカリ性にも傾きすぎると、作物に障害が発生する恐れがあります。また、最適なpHの値は作物によっても異なります。
EC	土壌中の肥料養分濃度の目安となる数値。特に窒素量の多少によってECの値が左右されます。ECが高くなると、根が水分を吸収できなくなるなどの肥料焼けを起こすことがあります。また、ECが高い圃場はpHが低くなりやすいです。
石灰	カルシウムのことです。植物細胞膜を強化して、病気などのストレスに強くなる働きがあります。酸性土壌を矯正するためにも施用されます。
苦土	マグネシウムのことです。植物の葉緑素を構成する要素で、光合成促進の役割を担います。
加里	カリウムのことです。根の伸長、植物体内での養分の運搬に関わります。

※この他にも、硝酸態窒素やリン酸が分析できます。また、オプション申込でCEC、腐植も分析可能です。

～土壌診断に取り組んでいる生産者の声～

質問① 土壌診断をやろうと思ったきっかけは？
質問② 土壌診断の結果をどう活用しているか？

この2つの質問について、生産者2人にお話を伺いました！

●山武経済センター管内：ハウスでメロンやトマトを栽培しているAさん

①の回答・・・定年退職後に、農業を始めようと本を読んでいたら「土壌診断をやりましょう」と書いてあり、皆やっているものだと思います、やってみました。

②の回答・・・初めは春肥の冊子を見て、施肥例のとおり肥料を入れていたけれど、土壌診断をするようになって必要な分だけ肥料を入れるようになり、減肥することができた。経済的に助かっている。

●成東経済センター管内：露地でネギを栽培しているBさん

①の回答・・・ネギを栽培する以前に、独学でいろいろな品目を栽培していたけれど、どれも品質が良くなかった。もっと基本的な勉強をしようと思った中で土壌診断のことを知り、化学的な根拠に基づいて栽培をしてみようと思った。

②の回答・・・病気が発生しにくい環境づくりのための材料として、生育が悪い原因を見つけるきっかけにもなっている。V型肥料や単肥を施用することで、減肥にもつながっている。



土壌診断を続けることで畑や農作物のためになったり、経済的にもコスト削減につながっているんだね！